

## LAN iSilencer の導入(12) (HP 収載) —PC から Brooklyn DAC+への送り出し—

### 1. はじめに

前報(10)までは、LAN iSilencer は PC から Sonica DAC 経由での再生における効果を調べてきましたが、今回は、PC から Brooklyn DAC+への送り出しで行ってみます。

### 2. LAN iSilencer の試聴方法

PC 経由の STAGE+の再生は次のルートで実施しています。

ルーター→スイッチングハブ→PC→Sonica DAC→DA-3000→Brooklyn DAC+  
この場合、LAN iSilencer は、ルーターの空きポート、スイッチングハブと PC の入力側 LAN ポートに装着しています。

今回の再生ルートは次のようになります。

ルーター→スイッチングハブ→PC→Brooklyn DAC+  
この場合も、LAN iSilencer は、ルーターの空きポート、スイッチングハブと PC の入力側 LAN ポートに装着しています。

また、前報(11)同様、LAN ケーブルの端子部分を切り取り、電磁波吸収シートの切れ端や電磁波吸収テープを巻き付けて、スイッチングハブとルーターの空きポートに挿しこんでいます。さらに LAN iSilencer 付属アダプターにダンパーフレークを貼り NRF-005T を巻いたものをスイッチングハブとルーターの空きポートに挿しこんでいます。

前報(11)同様、切れ目を入れたゴムホースの内側に電磁波吸収シート NRF-005L を貼り付けたリングを製作して USB ケーブルを通すことを行いました。USB ケーブルは、PC から Sonica DAC ないしは Brooklyn DAC+への接続に使用します。ついでに fidataHFAS1-S10 から Brooklyn DAC+への USB ケーブル用のものも製作しておきます。

LAN ケーブルについては、すべての LAN ケーブルにアモルメットコアのリングか、電磁波吸収テープ NRF-005T をスコッチテープで止めて丸めたリングを通してあります。

さらに PC の HDMI ポートには HDMI ケーブルを切って、電磁波吸収テープ NRF-005T を巻いたものを挿しこんでいます。

このように前報(11)と同様の対策を講じた上で、STAGE+の再生を従来の PC から Sonica DAC 経由で再生することと PC からショートパスで Brooklyn DAC+に直接送り出すことを比較するわけです。

STAGE+から下記を再生しました。

シューベルト ピアノ 5 重奏曲「鱒」1 楽章

リサ・パティアシュベリ他

ベートーヴェン ピアノソナタ 32 番

マウリチオ・ポリーニ(ピアノ)

ウジェーヌ・イザイ 無伴奏ヴァイオリンソナタ集

ヒラリー・ハーン(ヴァイオリン)

### 3. LAN iSilencer の試聴結果

始めに PC から Sonica DAC への送り出しで再生しておき、次に PC から Brooklyn DAC+への送り出しの再生を行います。

PC から Sonica DAC への送り出しでは、上記の LAN iSilencer の追加ならびにその他の対策で、シューベルトのピアノ 5 重奏曲「鱒」では、各パートのディテールの表現が高まっており、ライブ感が結果として向上しています。

ベートーヴェンのピアノソナタ 32 番では、打鍵に続く響きが細かいところまで表現されており、ポリーニのフレージングの取り方が把握しやすくなっています。

イザイの無伴奏ヴァイオリンソナタでは、音が滑らかになっており、弱音のボウイングの様がリアルに捉えられるようになっていきます。

PC から Brooklyn DAC+への送り出しに配線替えしますと、これまでに比べれば、表現の緻密さが向上しています、上記と比べると下記のような違いがでてきます。シューベルトのピアノ 5 重奏曲「鱒」では、全般に力強い演奏になりますが、弦の滑らかさは後退します。

ベートーヴェンのピアノソナタ 32 番では、ダイナミックな表現になりますが、細やかな響きは後退します。

イザイの無伴奏ヴァイオリンソナタでは、より力強いボウイングが聴けますが、細かいニュアンスの表現は後退します。

以上の違いは、PC 経由の方は、192KHz にアップサンプリングして Sonica DAC に送り出し、かつ DA-3000 で DSD に変換して Brooklyn DAC+に送りだされているためと考えられます。

### 4. まとめ

LAN iSilencer 他上記の対策の総合効果で、従来の PC 経由の STAGE+の音質のグレードも上がってきていますが、Brooklyn DAC+への直接の送り出しの再生におい

でもこれまでにないレベルに達しています。両者の音質の違いは、再生経路の特性を反映しています。

以上